

1 安心して 使っていただくために

群馬工場では、製造環境を常にクリーンに保つために、緩衝エリアを設けることによって外部環境と内部環境の遮断を図っています。その役割を務めるのが厚生棟の1階にある更衣室エリアです。全ての従業員がここで、ほこりが付着しにくく、糸くずも発生しにくい作業着に着替えます。床には素足ゾーンを設けて、外から履いてきた靴と工場内での履物が同じ床面で共存させない工夫をしています。



外から見た厚生棟



上: 下足スペース
下: 500人が使用可能な更衣室



使う人にやさしく、つくる人にもやさしい工場を目指しています

群馬工場の取り組み

3 CO₂を できるだけ出さないために

群馬工場では、2009年よりボイラーの燃料を、灯油から都市ガスへ切り替えました。天然ガスの燃焼時のCO₂排出量(単位発熱量あたり)は灯油に比べ25%削減されます。窒素酸化物(NO_x)や硫黄酸化物(SO_x)の排出も抑制できました。他の工場にもガス化の展開を予定しています。



ガス燃料対応のボイラー

4 パウチ容器で 樹脂を減量化

群馬工場には、パウチ式容器を充填するラインがあります。環境への意識の高まりを受け、パウチ容器の需要がますます拡大しています。お客様のご要望を受け、シャンプーやボディソープといったトイレタリー商品だけでなく、日焼け止めや乳液といった製品にも拡大しています。

2. 楽しいランチタイムを提供

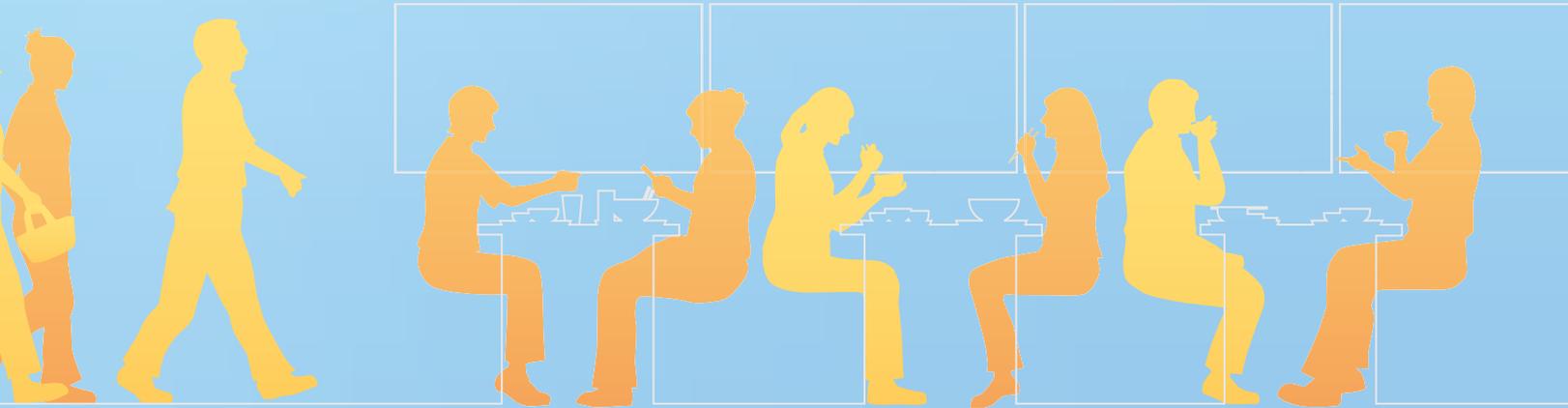
当社では、つくる作業にたずさわる人たちが気持ちよく働ける職場環境も品質のひとつと考えています。厚生棟の2階にある食堂には、厨房施設があり、カロリーを考慮した5種類の昼食メニューが、日替りで提供されています。300人を収容できる広さがあり、昼休みには従業員が2交代で利用します。スライドを投影するためのプロジェクターやスクリーンの設備があり、大会議室としても使われています。



上:厚生棟と製造現場をつなぐ渡り廊下
下:外から見た渡り廊下



食堂での食事風景



化粧品の製造工場として一番大切なことは、安心して使っていただける品質の商品を安定して造ることにあります。化粧品の製造にあたっては、厳しいGMP(グッド・マニファクチャリング・プラクティス)という基準が義務付けられていますが、コーセーグループでは、何よりも「お客様が手にする一個」のためにGMPをさらに上回る厳しさの独自基準を設けて品質追求への取り組みを行っています。

5. 「メダカの里」が共生のシンボル

地域の人々や自然環境との共生も大切です。群馬工場は製造に使った水を、地域の自然水系に放流するため、排水処理施設を完備しています。自然環境に排出ができる、安全できれいな水。そのシンボルとして、群馬工場の敷地の片隅に、工場排水がそのまま流れ込む「メダカの里」が設けられています。



パウチ式容器の充填ライン



「メダカの里」と名づけています